

平成15年10月期 第三級海上特殊無線技士 試験問題

無線工学

1. 周波数が高くなるほど、波長は短くなる。
2. 搬送波の周波数を音声信号で変化すると、AM電波が得られる。
3. 交流を直流に変える装置を整流器という。
4. 給電線とは、送受信機と空中線を接続する導線である。
5. 音量つまみによって、相手の通信を受信するとき聞きやすい音量に調節する。
6. 電離層の状態は、昼間と夜間又は季節によって変化しない。
7. 無線電話装置で送話の際、マイクロホンにできるだけ口を近づけ、大きな声を出した方がよい。
8. SSB (J3E) 送受信装置で、プレストーク押しボタンを押したとき、直ちに電波が発射される。
9. 超短波を用いる通信では、一般に直接波が利用される。
10. 小型木造船は、船舶用レーダで十分探知できる。